



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榑田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	4,236	△25.8	754	△50.7	767	△50.6	524	△40.2
2019年6月期第1四半期	5,708	13.8	1,528	131.4	1,555	131.7	877	84.5

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 531百万円 (△40.0%) 2019年6月期第1四半期 885百万円 (83.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	86.31	85.83
2019年6月期第1四半期	122.22	121.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	30,829	12,398	39.9
2019年6月期	29,793	14,037	46.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 12,306百万円 2019年6月期 13,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	20,300	△5.4	3,320	△25.6	3,220	△28.2	1,940	△28.4	319.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	7,265,212株	2019年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	1,535,805株	2019年6月期	1,083,605株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	6,078,387株	2019年6月期1Q	7,179,643株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国経済や国内設備投資が堅調に推移したものの、米中貿易摩擦の激化や日韓関係の悪化の中、消費税増税前の駆け込み需要も盛り上がり、全体として足踏み状態が続きました。

このような経済環境の中、国内向けイリジウムルツボや半導体製造装置メーカー向け温度センサーは顧客の生産調整が続き、有機EL向けや電極向けの化合物・貴金属原料、銀合金ターゲットも昨年末からの受注減が続きましたが、HD向けルテニウムターゲットの受注が回復し底打ち感が出てまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高4,236百万円(前年同四半期比25.8%減)、売上総利益1,300百万円(前年同四半期比35.7%減)、営業利益754百万円(前年同四半期比50.7%減)、経常利益767百万円(前年同四半期比50.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益524百万円(前年同四半期比40.2%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

米国向けのイリジウムルツボやガラス溶解装置向けプラチナ製品の受注が堅調に推移したものの、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が低調に推移したことから、売上高951百万円(前年同四半期比10.4%減)、売上総利益267百万円(前年同四半期比25.9%減)となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が軟調に推移したものの、HD向けルテニウムターゲットの受注が回復傾向となり、売上高1,934百万円(前年同四半期比17.7%減)、売上総利益594百万円(前年同四半期比22.0%減)となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が軟調に推移し、売上高518百万円(前年同四半期比1.4%減)、売上総利益146百万円(前年同四半期比13.9%減)となりました。

[ケミカル]

触媒の受注は堅調だったものの、有機EL向け及び電極向けの貴金属化合物・貴金属原材料の受注や精製受注が軟調に推移し、前年同四半期のような前倒し受注がなかったことから、売上高791百万円(前年同四半期比54.5%減)、売上総利益282百万円(前年同四半期比60.8%減)となりました。

②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は2,420百万円(総売上高に占める割合は57.1%)となりました。地域別にはアジア向け売上高1,554百万円(海外売上高に占める割合は64.2%)、北米向け売上高679百万円(海外売上高に占める割合は28.1%)欧州向け売上高185百万円(海外売上高に占める割合は7.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は30,829百万円(前連結会計年度末比1,035百万円の増加)、負債は18,430百万円(前連結会計年度末比2,674百万円の増加)、純資産は12,398百万円(前連結会計年度末比1,638百万円の減少)となりました。

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は20,303百万円となり、前連結会計年度末比401百万円増加いたしました。これは現金及び預金が317百万円減少しましたが、たな卸資産が683百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は10,525百万円となり、前連結会計年度末比633百万円増加いたしました。これは有形固定資産が719百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は15,936百万円となり、前連結会計年度末比2,381百万円増加いたしました。これは買掛金が843百万円、未払法人税等が1,059百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が4,600百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は2,493百万円となり、前連結会計年度末比292百万円増加いたしました。これは長期借入金が232百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は12,398百万円となり、前連結会計年度末比1,638百万円減少いたしました。これは自己株式が1,729百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年8月7日付「2019年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748	1,430
受取手形及び売掛金	2,499	2,621
商品及び製品	539	505
仕掛品	1,590	1,303
原材料及び貯蔵品	12,841	13,846
未収消費税等	595	529
その他	86	66
流動資産合計	19,901	20,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,294	2,270
機械装置及び運搬具(純額)	3,643	3,923
土地	1,724	1,727
リース資産(純額)	66	131
建設仮勘定	1,193	1,585
その他(純額)	47	50
有形固定資産合計	8,970	9,689
無形固定資産	52	53
投資その他の資産		
投資有価証券	28	29
繰延税金資産	735	646
その他	107	108
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	870	782
固定資産合計	9,892	10,525
資産合計	29,793	30,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,329	1,485
未払法人税等	1,235	175
賞与引当金	267	119
役員賞与引当金	65	—
短期借入金	8,000	12,600
1年内返済予定の長期借入金	755	780
その他	902	775
流動負債合計	13,555	15,936
固定負債		
長期借入金	1,217	1,450
退職給付に係る負債	504	510
資産除去債務	25	25
その他	453	507
固定負債合計	2,201	2,493
負債合計	15,756	18,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	8,647	8,739
自己株式	△5,552	△7,281
株主資本合計	13,954	12,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	△12	△13
その他の包括利益累計額合計	△9	△10
新株予約権	92	92
純資産合計	14,037	12,398
負債純資産合計	29,793	30,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,708	4,236
売上原価	3,684	2,935
売上総利益	2,024	1,300
販売費及び一般管理費	495	546
営業利益	1,528	754
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	31	16
助成金収入	6	5
その他	1	5
営業外収益合計	39	28
営業外費用		
支払利息	3	12
デリバティブ評価損	10	—
その他	0	1
営業外費用合計	13	14
経常利益	1,555	767
税金等調整前四半期純利益	1,555	767
法人税、住民税及び事業税	435	154
法人税等調整額	241	89
法人税等合計	677	243
四半期純利益	877	524
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	877	524

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	877	524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	13
為替換算調整勘定	9	△6
その他の包括利益合計	8	6
四半期包括利益	885	531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	885	531
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式452,200株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,729百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が7,281百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,061	2,349	526	1,737	5,674	34	5,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,061	2,349	526	1,737	5,674	34	5,708
セグメント利益	361	762	170	721	2,015	8	2,024

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	951	1,934	518	791	4,195	40	4,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	951	1,934	518	791	4,195	40	4,236
セグメント利益	267	594	146	282	1,291	9	1,300

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。